

岡山県社会福祉

— 令和元年特別座談会
特集 「想いを語る！未来をつくる！」
 — ～常務理事と県社協若手職員（主事）による座談会開催～



目次

赤い羽根共同募金	5
県社協ニュース	6
被災地からの発信	10
『ふくし』の仕事人たち	12
SELP商品のご紹介	12



 社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
 URL : <http://www.fukushiokayama.or.jp/>
 facebook : <https://www.facebook.com/fukushiokayama/>



想いを語る！ 未来をつくる！

vol.2

～常務理事と県社協若手職員
(主事)による座談会開催～

※vol.1は2014年4月号(No.604)



小川 敏朗 常務理事
2018年6月より現職。事務局長も兼任。趣味は読書、最近は孫のお守りも。

小川常務 新元号「令和」の時代が始まりました。平成から引き続き、私たちが生活する社会はものすごいスピードで変化しています。少子高齢化に伴う人口の減少や都市部への人口集中・核家族化による「コミュニティの希薄化など、私たちの仕事にとっても重要なファクターであります。そういった中で、若い皆さんの力、若い発想に大

いに期待をしています。今日は、新時代を担う若手の皆さんの意気込みを伺いたいと思います。それでは、まず県社協に入っ

● **仕事に対する思いや課題**

濱田 とにかく「現場第一」で考えています。県社協は、間接的な支援だからこそ、現場の声に耳を傾けることを大切にして

橘 私も福祉施設の方と関わることが多いのですが、福祉という誰かの幸せを支えるという仕事をされている皆さんは、本当に素敵だと思えます。その皆さんが、利用者さんや地域のためにやりたいことを実現するため、県社協の立場で何ができるのか、その時々



橘 哲也 (7年目)
地域福祉部(経営支援班)で老人福祉施設協議会等の事務局を担当。趣味は読書。

渡部 福祉人材確保を目的とした事業を進める中で、「どうすれば福祉の仕事の魅力が伝わるか」ということを常に考えています。そのためには、まずは自分自身が魅力を知ることだと思っています。施設の皆さんは、日々の忙しい業務の合間をぬって、本当に熱心に考えてくれます。現場の皆さんから教えていただいた魅力を県社協として、どうやって伝えていくか、もっと勉強しなければと思っています。

武田 担当する介護福祉士修学資金の仕事は、県民の方から相談を受けることが多いので、分かりやすく伝えることを意識しています。福祉の制度は複雑で制度改正が多いため、利用するにあたって、誤解などがないように、資料なども配慮して作成

しています。

角南 ボランティアをしたい方等から相談を受けることが多いので、相手の考えを整理できるような相談の受け方を意識しています。そのうえで対応をする際には、自分が何をすべきか、役割を見失わないように気を付けています。すぐに答えられないこともあるので、もっと知識を得たり、情報収集する必要性を感じています。

高橋 地域のつながりが強い地域で育ち、「そういう環境っていいな」と思い、田舎だけでなく都市部でも地域のつながりを実現できたらと考え、県社協へ入りました。実際入ってみると、裏方の仕事が多く、正直に言うと、最初の1年はやりがいについて悩んでいましたが、最近



武田 宗一郎 (7年目)
福祉支援部(生活支援班)で介護福祉士修学資金等の貸付制度を担当。趣味はゲーム。

一つ一つの事業を自分なりに工夫してできることに楽しさを感じています。

三宅 皆が触れているように、間接的に支援に関わることが多い職場なので、自分の業務が誰の役に立っているのか分からなくて悩むことが多かったですが、支援者の先にある地域やそこで生活している人に向かって目を向けることで中間支援の意義を感じるようになりました。

小川 なるほど、皆さんは仕事をやる中で、福祉の仕事の魅力について、どう考えていますか。

濱田 福祉の仕事の魅力は色々な価値観に触れることだと思います。県社協の仕事においては、市町村社協や都道府県社協など、日本全国で色々な方とつながり、ネットワークを作ることができると魅力の一つだと思います。

直接利用者さんと関わる機会は少ないですが、支援をする側の人と関わることで、司法や教育等の様々な視点からケ



三宅 啓太 (6年目)
福祉支援部(生活支援班)で地域生活定着支援センターを担当。趣味は映画鑑賞。

スについて触れることや、第三者的な視点だからこそ見えてくることも大切だと思うようになりました。

三宅 福祉の仕事の簡単に言えば「人の幸せを支えること」だと思っけています。幸せの形は千差万別、人それぞれで正解がありません。正解がないものを形にしていくことは難しい半面、とても面白いとも感じてます。そして、多くの人と関わり、色々な考え方に触れる中で、自分の考え方も磨かれていき、人間力が高まっているのでは、と感じることがあります。

小川 続いて、昨年は岡山県でも戦後最大の被害をもたらした平成30年7月豪雨がありました。その災害支援の経験を通じて、感じたことや学んだこと

自身が考える県社協の役割を聞かせてください。

●豪雨災害支援を経験して

橘 DWAT(災害派遣福祉チーム)の事務局として活動しました。その中で印象に残っているのは、参加した方から、「発災後、何かしたいという思いはあったが、何をすればよいか分からなかった。そんな時、県社協からの案内があり、勇気を出して参加した。そのことで貴重な経験ができ、出会った人や価値観が宝になった。」との感想をいただいたことです。

災害時に福祉ニーズを抱える要配慮者をどう支えるかは、私たち福祉職の大きな課題です。一方で、施設等で働く福祉職員の中には、被災により困っている人や地域のために何かしたいという想いを抱えている



濱田 美沙子 (3年目)
福祉支援部(生活支援班)で日常生活自立支援事業等を担当。趣味は華道。

方が多いと思います。時には、自ら音頭をとってDWATへの参画を呼びかけ、時には、活動する方を後ろから支えるという形で、両者を繋いでいくということが県社協の役割だということ等を改めて考えさせられました。



渡部 遥香 (3年目)
福祉支援部(福祉人材支援班)で職業紹介や各種研修等を担当。趣味は映画鑑賞。

高橋 現地の災害ボランティアセンターのスタッフとして支援に入りました。やるべきことはたくさんあり学びも多かったですが、県社協として何をすれば良いのか、何を求められているか、結局答えが出ないまま、ずっともやもやした状態でした。今、橘さんの話を聞いていて、後ろから支える、という言葉が腑に落ちました。

角南 ゆうあいセンター※で、中間支援組織として情報発信

※ゆうあいセンター：岡山県ボランティア・NPO活動支援センター

コーナーを作ったり、災害関連情報を集めたページを作り毎日更新をしたり、自分にできることをしていました。また、何かしたいと来てくれた高校生と一緒に、若者の視点で災害ボランティアハンドブックを作りました。今回の災害で、県社協は、災害ボランティアセンターの運営支援だけではなく、DWAや、特例貸付、復興支援など、幅広く関わっていると知り、災害時の役割の重要性を改めて感じました。

武田 少し違った視点ですが、今回県内で大規模な災害を経験したことで、これまで県社協としてのBCP（事業継続計画）について明確ではなかったことが分かりました。これについては、より具体的に考えなければならぬと思いますし、それに気づけたことは大きな学びだと思います。

小川 それでは最後に、令和に向けてこれから県社協でどんなことをしていきたいか聞かせてください。

●これからについて

高橋 中期的な目標は、自分が面白いと思ったことを事業の中に取り入れていくことです。将来的にはやはり、地域福祉部で地域共生社会の実現に向け、県内市町村社協の方々と協働して取り組んでいきたいと思っています。

渡部 昨年から始まった福祉施設のインターンシップ事業ですが、昨年は定員割れをしてしまったこともあり、今年は定員を超える応募が来るように広報周知を頑張ろうと思います。そして、将来的には対象を高校生だけでなく、大学生や専門学校生にも広げていきたいと思っています。

三宅 現在、個別・直接支援業務を担当している中で地域の取



高橋 一貴 (2年目)
福祉支援部（福祉人材支援班）で職業紹介や各種研修等を担当。趣味は最近始めたゴルフ。



角南 友梨 (2年目)
地域福祉部（地域支援班）でボランティア事業を担当。趣味はディズニーランドに行くこと。

り組みの大切さを痛感しています。その気持ちを持って、再度地域支援の業務に関わりたくいです。部署異動は避けては通れないですが、今いる部署で着いた火を消さずに次の部署に繋げていきたいと思っています。

濱田 大学院で研究の面白さを知ったので、臨床場面とコラボして共同研究ができれば嬉しいです。学会での発表や論文を書くことで、地域福祉の向上につながるだけでなく、社協事業の広報強化や役割の見える化に繋がるのではないか、と思っています。

角南 自分自身の持っている可能性を広げながら、地域の基盤になる仕組みに関わりたいいなと思っています。県社協は、仕事内容が幅広いので、その環

境を活かし、色々な仕事を経験したいと思っています。

小川 福祉の仕事、県社協の仕事について、皆さんの意欲を聞かせてもらいました。今後幅広い視野を持って時代を見据え、社協の一職員として何ができるか、ということを考えてほしいと思います。小さなことでも、みんなふうになれば良いのに」と常に考え、誰かに話していくことで物事が動く時があります。新しい時代、色々なことを考えて前向きに取り組んでほしいと思います。

ありがとうございました。



赤い羽根共同募金

岡山県共同募金会



共同募金配分交付式

30年度に県民の皆様からお寄せいただいた募金の配分先が決定し、4月9日（火）きらめきプラザにおいて「共同募金配分交付式」を開催致しました。配分を受ける92施設・団体に対し、本会藤本道生会長より配分総額195,540,000円の配分決定通知書が交付され、地域福祉の更なる向上に活用されます。



平成30年度共同募金配分（令和元年度事業実施分）

配分先・事業	内容	配分額（円）
県・市町村社会福祉協議会	地域福祉活動費等	162,850,000
民間社会福祉施設	備品・車両整備費等	12,200,000
民間県域福祉関係団体	活動費等	7,050,000
赤い羽根ボランティア団体・NPO活動支援事業	ボランティア団体・NPO活動費	530,000
赤い羽根共同募金「地域ささえあいプロジェクト」	NPO活動費等	10,390,000
NHK歳末たすけあい2次配分	福祉施設の備品整備	2,520,000
合計		195,540,000

～ありがとうメッセージ～

《真備かなりや小規模保育園》

助成金で、砂場で遊ぶためのおもちゃを収納する倉庫と手洗い場を整備させていただき、子供たちがより安心して安全に生活できる環境を整えることができました。

皆様の善意のおかげです。本当にありがとうございました。



《ふなぐら荘》

当事業所では手工芸部門として七宝焼製品の作製を行っています。今回助成金で炉を購入させていただき、効率よく作業を進めることができるようになりました。良い作品が出来上がった時の嬉しそうな笑顔は、最大の喜びです。

本当にありがとうございました。

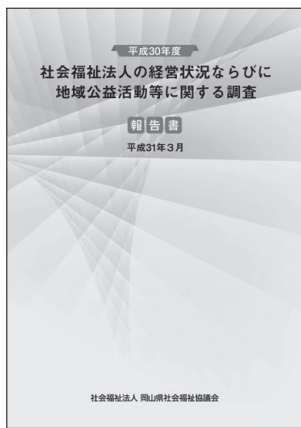




「平成30年度 社会福祉法人の経営状況ならびに地域公益活動等に関する調査」概要報告

昨年度、岡山県より受託した「小規模法人のネットワーク化による協働推進事業」において、県内の社会福祉法人（355法人）を対象に、社会福祉経営状況や実態、経営規模に応じた課題・支援ニーズ等のほか、地域公益活動や平成30年7月豪雨における災害支援の取組状況等について把握するための調査を実施したところ、204法人（回収率60・9%）から回答をいただきました。

この度、調査結果をとりまとめた報告書を作成しましたので、その概要について報告いたします。



■経営相談・支援体制について

事業分野や法人規模にかかわらず、9割以上の193法人が「人事・労務の課題」を抱えており、特に

「キャリアパスの構築」、「有給休暇の取得促進」、「賃金体系の整備」を課題と感じる法人が多いという結果になりました。自由記述欄には「人材確保・育成」に関する課題も多く挙がっています。

また、8割強の198法人が、税理士・社会保険労務士等の専門家と顧問契約を結んでいるほか、岡山県社会福祉協議会に対して「課題別・地域別の研修会の実施」や「社会福祉に精通した専門家の情報提供・派遣」といった支援を求めていることもわかりました。

■地域公益活動について

地域公益活動の取組状況では、7割強の193法人が何らかの取組を実施していることがわかりました。具体的には「健康支援」や「相談支援」、こども食堂等の「居場所づくり」など、その取組内容や対象は、各分野（高齢・障害・児童）の実態がよく表れています。また、取組の連携先は、どの分野も「行政」が一番多いという結果になりました。

実施にあたっては、主にサービス活動収益額が2億円未満の小規

模な法人において、本来業務が忙しく、取り組む人材の確保に課題を抱えていることもわかりました。

■災害時における取組について

平成30年7月豪雨における災害支援の取組状況では、7割強の193法人が「義援金・支援金」、「職員派遣」、「避難者受入」といった支援に取り組んでいます。

また、複数法人が連携して取り組む災害支援（協働事業）があれば参画したいか尋ねたところ、「参画したい」と回答した法人が約4割（84法人）いましたが、人材不足等の事情から「わからない」と回答した法人が最も多く、91法人という結果になりました。

今回、どの調査項目においても喫緊の課題として挙げられた人材確保や育成・定着に関する支援をはじめ、法人経営の基盤強化に向けた支援や、複数法人の連携による協働事業の実施検討など、本調査結果を、本会における経営支援の取組の基礎資料として活かしていきたいと考えています。

報告書の詳細は、本会ホームページ上で確認ください。

http://fukushikayama.or.jp/omuwelfare/keiei_tyousa/

社会福祉法人の 会計を完全フォロー!

初回相談料 無料!

- 内部統制の向上に対する支援
- 事務処理体制の向上に対する支援
- 指導監査ガイドラインチェックサービス

- 記帳代行サービス
- 試算表チェックサービス
- 顧問契約サービス

お困りのことがあれば今すぐ!

社福経営サポートクラブ

株式会社 創明コンサルティング・ブレイン
SCB 公認会計士・税理士 宮崎 会計事務所

☎ 0120-747-824

〈受付時間〉9:00~17:30(平日)

ホームページ <http://www.ssc-scb.com>

〒702-8002 岡山県岡山市中区桑野713番地10



SCB 社福サポート担当 いしはら

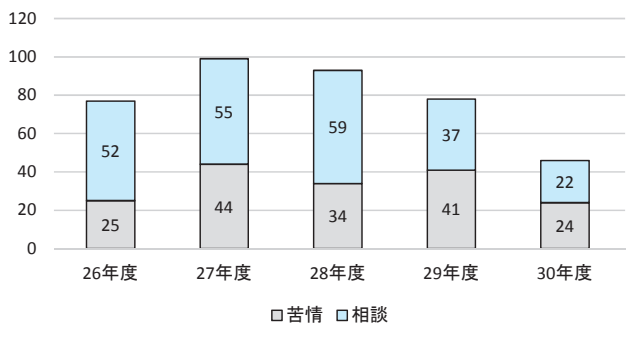
福祉サービスに関する苦情解決の取組について

福祉サービスにおける苦情解決の目的と意義は、「権利擁護（利用者本位の福祉サービスの具現化）」と「福祉サービスの質の向上」にあります。利用者本位の福祉サービスの実現には、利用者と福祉施設・事業所の対等性と信頼関係の構築が必要であり、そのための手立ての一つが苦情解決です。苦情解決の取組を通じて適切な福祉サービスへの改善に結び付けることにより、自らが提供するサービスの質の向上、また、福祉サービスを担う職員の資質向上につなげることができます。そのうえで、苦情への適切な対応は、利用者や家族、地域からの信頼を得ることにつながります。

苦情解決体制を整備し、利用者からの苦情の解決に努めることは、福祉施設・事業者の責務です。苦情解決について、社会福祉法第82条では、「社会福祉事業の経営者は、常に、その提供する福祉サービスについて、利用者等からの苦情の適切な解決に努めなければ

ならない。」と規定し、国では、「社会福祉事業の経営者による福祉サービスに関する苦情解決の仕組みの指針」において、福祉施設・事業者は、苦情解決責任者、苦情受付担当者、苦情解決に客観性を担保するための公正中立な第三者委員の設置により、苦情解決体制を整備し、利用者や家族が苦情を相談しやすい環境を整えることを求めています。（平成29年3月通知）

年度別受付件数の推移



福祉サービスに関する苦情解決報告（平成30年度）
岡山県運営適正化委員会

なお、平成30年度に本会で受け付けた福祉サービスに関する苦情件数は24件（前年度41件）、苦情に満たない相談件数は22件（前年度37件）となり、ここ数年間では大幅な減少となりました。（別図参照）。

苦情受付のサービス種別は、近年の状況と変化なく、障害者関係が大半を占めています。

また、相談内容に関しては、運営適正化委員会で対応できる範囲を超えている場合も多く、より複雑化・多様化し、専門機関や行政機関との連携がますます重要になってきていると感じています。

【運営適正化委員会】

社会福祉法第83条にもとづき、福祉サービスに関する利用者等からの苦情を適切に解決するため、各都道府県社会福祉協議会内に設置されています。

岡山県運営適正化委員会

TEL&FAX

086-1226-9400

福祉の労務管理は福祉の社労士にお任せください！



労務管理で困っている

- 就業規則の見直し
- 人材育成
- 人材定着
- 助成金の活用
- セミナー講師
- 業務の効率化

Ai あい社会保険労務士法人 ☎ 0863-81-5634

特定社会保険労務士 佐藤起世子
〒706-0024 玉野市御崎 2-3-13

あい社会保険労務士法人

検索

<http://aisr.or.jp/> メルマガ募集中！
メルマガはHPからお申し込みください。

各種貸付事業のご案内

※各貸付事業の詳細については、岡山県社協ホームページをご覧ください。

児童養護施設退所者等に対する自立支援資金

- 貸付対象** 岡山県内の児童養護施設等入所中又は退所した方、岡山県内に居住する里親等委託中又は委託を解除された方で一定の要件を満たす方（進学者・就職者・資格取得希望者）
- 資金種類** 1. 生活支援費：月額5万円 <進学者>
2. 家賃支援費：家賃額(上限有) <進学者> <就職者>
3. 資格取得支援費：25万円以内 <資格取得希望者> ※就職に必要となる資格が対象
- 対象者** 岡山県内に居住する連帯保証人が1名必要
- 連帯保証人** 無利子（返還債務の返還期限を過ぎた場合は、年5%の延滞利子を徴収します。）
- 利子** 返還事由（就職先を離職したとき等）に該当する場合は、返還事由が生じた日の属する月の翌月から起算して、貸付を受けた期間の2倍に相当する期間内（資格取得希望者の場合は2年以内）に返還していただきます。
- 返還** 各資金種類に設定された特定の要件に該当する場合（一定期間以上引き続き就業を継続したとき等）、返還の債務が免除されます。
- 返還免除**

児童養護施設等を退所し、進学・就職する方に、自立に向けた資金を貸付する事業です！



ひとり親家庭高等職業訓練促進資金

- 貸付対象** 岡山県に住民登録をしている方で、自治体が実施する「高等職業訓練促進給付金」を受給しており、養成機関を卒業後岡山県内において取得した資格が必要な業務に従事しようとするひとり親家庭の親
- 資金種類** 1. 入学準備金：50万円以内 2. 就職準備金：20万円以内
- 連帯保証人** 1名（連帯保証人を立てない場合も貸付は可能です。）
- 利子** 連帯保証人を立てる場合は無利子。連帯保証人を立てない場合は、年1%の利率となります。（返還債務の返還期限を過ぎた場合は、年5%の延滞利子を徴収します。）
- 返還** 返還事由（岡山県内において取得した資格が必要な業務に従事する意思がなくなったとき等）に該当する場合は、返還事由が生じた日の属する月の翌月から一定期間内において、返還していただきます。
- 返還免除** 養成機関を修了し、かつ、資格取得した日から1年以内に就職し、岡山県内において取得した資格が必要な業務に5年間引き続き従事した場合、返還の債務が免除されます。

養成機関に在学して、就職に有利な資格取得を目指すひとり親家庭の親に、入学時や就職時に必要となる資金を貸付する事業です！



【問い合わせ先】岡山県社会福祉協議会 福祉支援部 生活支援班 TEL：086-226-3544

“お車の共済の事なら！”

西日本自動車共済協同組合

お見積り、ご相談、無料で承りますので
お気軽にご連絡下さい！

岡山県支部 〒700-0927
岡山市北区西吉松 237-126 松本ビル3F
TEL086-246-3355 FAX086-246-3375

【本部】福岡市博多区東比恵 2-15-25
TEL：092-441-5901

NJ730.1603.0250.999999



統合型勤務管理システム

勤務表プロ



人の作成手順に沿った勤務記号の自動割付機能

自動割付機能と手順の標準化で勤務表の作成時間を大幅短縮
予定作成から勤怠管理まで全データを一元管理

予定作成、実績管理、勤怠管理
常勤換算、タイムレコーダー連携

高齢者福祉、障害者福祉、児童福祉、保育福祉

業務効率化・働き方改革 支援ソフト！

プロシステム株式会社
☎ 06-6305-8811

勤務表プロ 検索

瀬戸内海を一望する特等席で、最高のおもてなしを。

昼の宴会プラン 3,000円(税サ込)~

ご予算に応じて
ご提案致します。
お気軽に
ご相談ください。

10名様より
ご利用頂けます。

※本プランは予告なく終了
する場合がございます。
※このプランには除外日
がございます。

※写真はイメージです。

ダイヤモンド
瀬戸内マリンホテル
DIAMOND SETOUCHI MARINE HOTEL

TEL.0863-81-2120
〒706-0028 岡山県玉野市渋川 2-12-1
https://www.marine-hotel.co.jp



福祉人材センターからのご案内

福祉の職場見学・体験ツアーのご案内

今年度も、夏休みに小学校4・5・6年生及び中学生を対象とした「福祉の職場見学・体験ツアー」を開催します。

施設周辺の駅に集合し、高齢・障害関係の施設等福祉関係施設を巡るバスツアーです。参加費は無料で、昼食付です。各コース工夫を凝らした内容で、楽しく見学・体験できるものです。ご希望の方は県社協ホームページをご覧ください。下記までお問い合わせください。

- ◆ 日程／場所……………Aコース：7月20日（土） 救護施設浦安荘・介護老人保健施設藤崎苑
Bコース：7月26日（金） クラシス・特別養護老人ホーム元気の家
Cコース：7月31日（水） 老人保健施設エスペランスわけ・藤工房
Dコース：8月5日（月） 地域密着型特別養護老人ホーム庄の里「なごやか」・多機能型事業所つばさせとうち
Eコース：8月6日（火） 特別養護老人ホーム高寿園・津山ひかり学園ひかりの丘
Fコース：8月20日（火） 旭川荘本部地区・特別養護老人ホーム牟佐げんき
Gコース：8月22日（木） 旭川荘たかはし障害者支援センター・特別養護老人ホームグリーンヒル順正
- ◆ 参加費……………無料（但し、各コース自宅から集合場所までの交通費は自己負担をお願いします。）
- ◆ 定員……………各コース20名（応募者多数の場合は抽選で参加者を決定させていただきます。）
- ◆ 申込締め切り……………6月13日（木）（当日消印有効）
- ◆ 抽選日……………6月19日（水）



福祉職場インターンシップのご案内

岡山県福祉人材センターでは、夏休みに、県内の高校生を対象に「福祉職場インターンシップ」を実施します。希望の福祉施設・事業所で職員の方に密着しながら、実際のお仕事が体験できます。

- ◆ 対象……………県内に在住または県内の高校に在学中の高校生
 - ◆ 実施期間……………A期間：7月29日（月）～8月2日（金） B期間：8月5日（月）～8月9日（金）
C期間：8月19日（月）～8月23日（金） D期間：8月26日（月）～8月30日（金）
◎上記期間中で2日間コースまたは3日間コースを選べます。
 - ◆ 場 所……………参加者の希望施設・事業所
 - ◆ 参加方法……………参加申込書に必要事項をご記入のうえ、6月21日（金）までにFAXまたは郵送してください。
- ※受入施設・事業所情報・参加申込書は岡山県社会福祉協議会のホームページからダウンロードできます。

福祉の就職総合フェア夏のご案内 ～福祉の魅力と感動はきっとココにある～

岡山県福祉人材センターでは、福祉・介護職への就職を考えている学生、一般の方などを対象に就職総合フェアを開催します。

各日55ブースの法人・事業所が面談コーナーを設けるほか、カイゴ男子・女子による介護の魅力発信、福祉資格の取得に関する相談会、中高年やひとり親の皆様の再就業相談も実施します。

- ◆ 日 時……………第1弾：8月24日（土）12時～16時
第2弾：8月25日（日）12時～16時
- ◆ 場 所……………岡山コンベンションセンター（岡山市北区駅元町14番1号）
- ◆ 参加方法……………事前申込不要・入退場自由・入場無料・履歴書不要・服装自由



【福祉・介護職員対象】 電話・来所相談出張講座のお知らせ

岡山県福祉人材センターでは、福祉・介護職に就く職員の方の働きがいを支えるため、電話・来所による何でも相談、出張講座を開催しています。

お気軽にお問い合わせください。

【仕事の悩み何でも相談】

- ◆ 日 時……………毎月第2・4木曜日 午後1時～午後4時
- ◆ 相談方法……………電話、来所にて ※来所の場合は電話予約必須。
- ◆ 費 用……………無料

【職場の定着力アップ出張講座】

- ◆ 日 時……………月2回程度
- ◆ 内 容……………ご希望の講座、個別相談
- ◆ 対 象……………福祉・介護サービス事業を実施している法人、事業所
- ◆ 予約方法……………所定の用紙をFAXで送信 ※用紙はホームページからダウンロードできます。
- ◆ 費 用……………無料

【問い合わせ先】 福祉人材センター TEL 086-226-3507 FAX 086-801-9190

コミュニティ 再生に向けて「住民に寄り添う」支援の継続を

社会福祉法人倉敷市社会福祉協議会 まび復興支援ボランティアセンター

平成30年7月豪雨から1年が経とうとしています。今年度のこのコーナーでは、「被災地からの発信」として、被災地を中心に活動している団体取材し、被災地の当時の状況や現状、今後について、情報発信していきます。第1回目は、倉敷市社会福祉協議会「まび復興支援ボランティアセンター」職員の日野林典人さんにお話を伺いました。

(((••))) 倉敷市災害ボランティアセンターとしての支援

平成30年7月豪雨災害により、倉敷市真備町では小田川とその支流が決壊し、広範囲での浸水被害が発生しました。倉敷市社会福祉協議会（以下、「社協」）では、7月11日に「倉敷市災害ボランティアセンター」を設置し、県内だけでなく全国各地から支援のために駆けつけてくださったボランティアの協力をいただき、復興のための活動を行ってきました。

当初は、ボランティアセンター本部を真備町内に設置することが難しく、同市内の玉島地域にある中国職業能力開発大学校に本部を置き、支援活動をスタートしました。ニーズ（生活の困りごと）の把握や、県外からのボランティア募

集体制も十分整っていないような混乱した中において手探り状態で進めてきましたが、被災直後の3連休（7/14～16）では、最大で一日に2,300名ものボランティアの方が集まってくださり、大きな力となりました。

● 技術系ボランティアとの協働

被災した家屋は二階天井まで泥水に浸水しているところが多く、しかも被災した家屋の件数も多いことから、家財や廃棄物の搬出、泥かきだけでは変化するニーズに対応できず、復興に向けての時間がかかってしまうのではないかという心配がありました。

そこで、床剥ぎや土壁を落とすなどの技術を要する支援がもっと必要だと話し合いをはじめ、支援活動に入っておられた技術系ボラ

ンティアの方に講座を開いてもらい、作業のやり方などを学び、ボランティアセンターとしてどこまでの範囲の活動を行うかの判断をしました。

一般のボランティアの方には危険な作業もあるので、経験のある技術系ボランティアを募り、土壁落としや一階の天井落としなどの作業を行うこととしました。

● 住民の「より近くで、より丁寧」に寄り添う

環境整備が進んできたところで、10月25日に真備町内の「まびいきいきプラザ」に本部を移転し、住民の「より近くで、より丁寧に寄り添う」をテーマに支援活動を行っていくことになりました。

11月中旬頃からは被災地域の全戸訪問するローラー作戦を開始

し、ニーズの拾い上げも行ってきました。時間が経つに連れニーズも1日100件を切るようになり、毎日のボランティア活動を縮小化していきました。

(((••))) まび復興支援ボランティアセンターの開設

4月1日から場所を移転し「まび復興支援ボランティアセンター」に名称変更し、土・日曜日に限ってボランティア活動を実施しています。

被災された方々の中には現在も、家を解体するカリフォルムするかで悩んでいる方が多くおられます。掃除等も手付かずの家もあります。ことから、4月中旬でもニーズが50件程度はあります。古くからの木造建築の家も多く、長期的な作業が必要な家が残っています。





ボランティアの方は大体同じ顔ぶれになってきましたが、お互いに信頼関係も生まれるので、支援活動はスムーズです。県外からも大勢来てくださっています。ニーズに対して若干人数が足りていない状況です。

また、10月より設置された被災された方の見守り・相談支援を行う「倉敷市真備まえ合いセンター」もセンターの向かいの部屋に移ったので、お互いにニーズを拾い上げてつなぐという連携支援も行っています。

コミュニティ再生に向けて

復興支援ボランティアセンター

としての目標は、支援できるニーズの数をゼロにすることです。その後は、センターの業務となるか社協業務となるかは定かではありませんが、真備に住民が帰ってくるための支援を行っていききたいです。

コミュニティを再生するためには地域のゴミステーションや側溝、道路などの環境を整えていくことも必要です。被災したままの所も多く見られるので、外部支援に頼るだけでなく、住民と一緒に掃除をするような企画も増やしていきたいと考えています。

今後、被災前にも取り組めていなかったことを始めるなど、いろいろな発想で住民と一緒に考えていくことが出来ればと思います。

これまでを振り返って

支援にあたる中で良かったことは、災害ボランティアセンター開設時から外部支援団体と良い関係を築けたことです。平成29年に岡山県で全国社会福祉協議会主催の災害ボランティアセンター運営者研修が開催されましたが、そこで知り合った団体の方々が被災直後に駆けつけ、町の情報収集や提供をしてくださいました。顔の見える関係であったので、違和感なく

外部の団体と一緒に災害支援を行うことが出来ました。

一方、心残りなのは、社協という「組織」として動けたのだろうかという点です。このような災害を想定しきれておらず非常に混乱しましたし、職員間の情報共有も十分ではなかったです。

組織体制や事前の備えなどの振り返りを徐々に行っていきたいです。いずれは住民に向けて今回の災害によって倉敷がどのように変わっていかれば良いか一緒に考える場をつくっていききたいと思っています。



▶お話を伺った日野林さん。倉敷市災害ボランティアセンターではセンター長を務めています。

【問い合わせ先】

(福) 倉敷市社会福祉協議会
まび復興支援ボランティアセンター
倉敷市真備町筋田1-6-1-1
TEL 086-6988-4888
https://peraiichi.com/landing_pages/view/kuravol

夏たび 2019 夏旅金券プレゼントキャンペーン実施中

7月1日(月)～9月30日(月)の期間、ご出発の国内・海外募集型企画旅行を

8月16日迄にお申込いただくと、次回のご旅行にご利用いただける旅行金券をプレゼント

お一人様旅行代金が2万円以上10万円未満・・・2,000円相当の旅行金券

お一人様旅行代金が10万円以上・・・5,000円相当の旅行金券



観光庁長官登録旅行業第55号

(社) 日本旅行業協会正会員ポンド保証会員

岡山市北区幸町8-29 大樹生命岡山ビル9階

Tel: 086-225-2771 Fax: 086-225-7494 担当: 中西・深井・三鬼





『ふくし』の 仕事人^{vol.44}たち

施設・団体等で働く「ふくし」の仕事に
携わる人たちの声を紹介していきます。



社会福祉法人順正福祉会 順正保育園
さか ちよ ちえ
坂本 知絵 さん
【特技：バレーボール、編み物、造形】

①「ふくしの仕事」をはじめたきっかけは？

自分自身が保育園に通っていたこともあり、幼い頃から、保育園の先生になるのが夢でした。夢といっても、明確な目標として、ずっと掲げていたわけではなく、なんとなく子どもが抱く憧れのようなものです。その延長か、同級生や下級生のお世話をしたり、年下の子と遊んだりすることが好きな子どもでした。中学生になると、保育園へボランティアや授業で職場体験に行き、様々な経験をしていく中で、保育士になることが具体的な夢になりました。

今の職場は、6年目になりましたが、周りの先生方に支えていただきながら、楽しく仕事に励んでいます。

②今、主にどんな仕事をしていますか？また、「ふくしの仕事」の魅力はどんなところだと考えますか？

今は、3才児クラスを担当しています。3才児クラスは、外で遊ぶことも多く、簡単なルールの遊びができる年齢です。ルールを教えるのは難しいですが、昨日できなかったことが今日できるようになる瞬間を間近で見ることができると本当にやりがいを感じます。

また、この仕事の魅力は、なんといいっても子どもから元気をもらえることです。園児が、家で保育園の話をしたり、保育園に行きたいと言ったりしていると聞くと本当に嬉しいです。また、私が作ったおもちゃで一生懸命遊んでくれたり、他のクラスに行ってもそれが遊んでくれたりすると達成感があります。

③仕事をするうえで大切にしていることがあれば教えてください

一番大切にしていることは、言葉遣いです。同じ出来事を説明しても、言い方によっては保護者を不安や不快にさせてしまうことがあります。

新人のころは、園児のその日の様子について、上手く説明できないことがありました。大切な子どもを保護者が心配するのは当然です。不安な気持ちにならないよう、丁寧な言葉遣いで状況が分かるような話し方を心掛けています。

④今後、どんな「仕事人」になりたいですか？（今後の抱負、トライしてみたい仕事など）

保護者の気持ちにも寄り添える保育士になりたいです。

その一歩として、お迎えにきた保護者に、必ず、一言でもその日にあった出来事を話すようにしています。そうした日々の積み重ねが信頼関係に繋がると思っているからです。

これからも周りの先生の良い所を見て学びながら、笑顔を忘れず、園児にも保護者にも寄り添える保育士を目指して頑張りたいと思っています。



SELP商品の紹介

社会福祉法人 浦安荘
就労継続支援B型事業所
ワークステーション・コンドル

パンや焼き菓子、お弁当の製造、軽作業や清掃の請負作業をしています。コンドルのパンのおすすめは、メロンパン！ふわふわのパンをサクサクのクッキー生地で包みこんでいます。そのほか、あんパン食パンカレーパン、50種類以上のパンを製造しています。ご連絡いただければ、お取り置きやイベントの出店にも積極的に参加させていただきます。利用者さんとも、皆さまに喜ばれる製品作りを目指していきたいと思えます。



- 商品名/メロンパン
- 通常販売価格/110円(税込)
- 内容量/1個
- 賞味期限/3日間(製造日含む)
- 原材料表示/強力粉・薄力粉・砂糖・鶏卵・発酵バター・マーガリン・塩・粉ミルク・イースト

問い合わせ先
岡山市南区浦安本町208-16
TEL 086-1261-7885

機関紙

「岡山県社会福祉」へのご意見・ご感想をお寄せください！

ご意見・ご感想をいただいた方の中から3名様にSELP商品紹介事業所の商品をプレゼントします。

機関紙へのご意見・ご感想、住所、氏名、年齢をご記入の上、下記までお送りください。

- 郵送
〒700-0807
岡山市北区南方2丁目13-1
きらめきプラザ3階
岡山県社会福祉協議会
機関紙編集班
- FAX
086-227-3566 まで
なお、当選の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。

編集後記

元号が「平成」から「令和」に変わり、日本の歴史が一つの節目を迎えましたね。私たちの日常生活に大きな変化が生じたわけでは
ありませんが、自然と気持ちを新たにすることができました。これからも一日一日を大切にしていきたいものです。